



白河二中だより

NO. 22
2024. 9. 27
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

時機を逃さない

今週は2日間の中間テストを実施しました。テストの手応えはどうだったでしょうか。

今年度も丁度「半分」という時期になりましたので、これまでの半年の学習の成果と課題を確認すること、そして、生活習慣などを見直す機会になるかと思えます。

来週の月曜日以降に、採点された解答用紙が手元に戻りますが、大切なことは、今回のテストで間違えた問題に、今すぐに、向き合うことです。当然のことですが、分からないままにすることなく、すぐに、教科書やノートを見返したり、友達に聞いてみたり、先生方に確認をしたりして、確実に習得してほしいと思えます。

また、これまでの生活なども振り返りながら、学習時間は十分だったか、SNS等との付き合い方は間違っていないかなど、しっかり確認をする必要があります。

是非、ご家庭でも学習面、そして、生活面について話題としてください。保護者の皆さん自身も、これまでの生活で「時機を逃さない」ことの大切さを、幾度も感じられてきたのではないかと思いますので、これまでの体験や具体的な事例などを交えて、子ども達にお話しただけたらと思えます。どうぞよろしく願いいたします。



視野を広げて

19日(木)、PTA教養委員会の主催により白河薬剤師会会長の三科龍平さんをお招きし、キャリア教育講演会を実施しました。また、現在、三科さんの薬局で実習をしている本校の卒業生の白石さんも一緒に来校されました。

三科さんからは、薬の重要性とともに、医療や薬は決して万能ではないので、薬を使わなくても健康でいられる情報を共有することが大切であることなどを、お聞きすることができました。

人の命に直接関わる薬剤師という職業に、誇りをもっていらっしゃる姿に憧れを抱いた生徒もいたのではないかと思います。将来の職業の選択肢が一つ増えました。



嬉しい気持ちに

3連休で白河市の図書館に本を借りに行きました。テスト前であり、本校のたくさんの生徒が勉強をしていたようです。図書館の入り口では2名の3年生男子と、2階に上がると、私に気づいた3年生の男子生徒が近づいてきて、あいさつを交わしました。階段でも3年生男子とすれ違い、また、出入り口付近で1年生女子3名と、さらに、ロビーでは1年生男子4名が勉強をしていましたが、それぞれと、笑顔であいさつを交わすことができました。

白河市の施設を上手に使い、集中して学習に取り組んでいること、また、当たり前のことですが、いつでも、どこでも、さわやかにあいさつを交わすことができていることに、子ども達の成長を感じ、嬉しい気持ちでいっぱいでした。

No.20号においても、地域の方からあいさつに関してお褒めの言葉をいただいたことをお伝えしましたが、さらに「あいさつ日本一」を目指し、子ども達とあいさつを交わしていきたいと思えます。